

きざみずい報広

【毎月15日発行】

編集者	大野次男
総務課長	大野次男
発行所	泉崎村役場
印刷所	ワタベ印刷所

村民の動き	本月	前月
世帯人口	1,073	1,073
男女計	2,866	2,876
	3,009	3,016
	5,875	5,892

6月の暦

4日	虫歯予防デー
7日	計量記念日
10日	時の記念日
11日	入梅
19日	父の日
22日	夏の節句
23日	端午の節句



整地された
耕地の一部

農業近代化の第一要件である耕地の整備のために計画された泉川流域と関平地区下町尻を中心とする基盤整備事業は昨年十



(上)：関平地区山寺方面より県道を望む。
(下)：根岸橋より見た第一小学校後

泉崎第一小学校

改築工事着工

老朽危険校舎として新築を迫られていた第一小学校は去る三月開かれた村議会で万場一致議決され愈々新築されることになった。工事は請負で施工されるが去る五月九日入札会を開き競争入札の結果矢吹町岡谷地高田工業株式会社(高田兼芳社長)が工費三千三百十八万円で請負い、十四日工事請負契約を締結した。既に地割りを終り基礎杭の打込み作業がはじまっているが、工事の安全を祈願する地鎮祭が二十七日現場で行われることになっている。

今までの例だと八、九月頃に着工するので厳寒期に入る憂えがあったが、今回は文部省や県の方針で早期に着工できるので工事も順調に進むものと期待される。新築される校舎は鉄筋造二階建て延一、二七平方米(二七一坪)の近代的な建物で現在の第一小の西側校舎の前(東へ)十米の位置に併行して建てられ普通教室八管理室二、その他七室が計画され十一月末日完成の予定である。

土地基盤整備事業 第一期工事終る

六月の行事予定

一月から始められたが、全工事が終り耕地の配分関係が残るだけとなったが配分も間近に行われる模様である。

- 総務課
 - ・選挙人名簿調に関する一斉調査 20~29日
 - ・役場職員訪問調査 20~30日
 - ・定例監査 11日 役場
 - 産業課
 - ・41年度造林事業補助金申請とりまとめ 20~24日 役場
 - ・農業委員会(定例) 15日 役場
 - ・豚コレラ予防注射 5・15・25日 巡回
 - ・馬伝貧検査 14日 巡回
 - 住民課
 - ・国民年金保険料免除申請 20~30日 役場
 - ・老令、母子、障害、福祉年金、所得状況届書取纏め 20~30日 役場
 - ・下甸 東地区 集会場
 - ・下甸 西地区 役場
 - 税務課
 - ・納税完納者表彰式 下旬 役場
 - ・村県民税第一期発行
 - 教育委員会
 - ・定例委員会 下旬 役場
 - ・小中学校学力調査 24日 役場
 - ・村内小学校訪問 下旬
 - ・公民館運営審議委員会 下旬 役場
 - ・公民館訪問指導 (教育事務所より来村指導) 下旬 役場

カード式になる

永久選挙人名簿

六月二十日から基礎調査

いままでも簿冊式の選挙人名簿であつたのが今後は一人一人のカード式の選挙人名簿に改正になります。それで来る六月二十日全国一律に選挙資格に関する調査をするのと同時に住民の実態をつかむための基礎的な資料を得るため調査が行なわれることになりました。

この調査には役場職員が調査員として各世帯に参上し調査いたしますから調査もれのないようによりよくお願いします。

今度の永久選挙人名簿に調査の結果登録される者の資格は六月二十日現在で三ヶ月以上泉崎村に住所のある者で年令は満二十才以上に達している者、新たに八月三十一日に満二十才になる者が登録されます。八月三十一日の登録日以降に資格ができた者の登録は申告（申出）によつて行なわれることになりまますから他の市町村から転入された者、あるいは登録日以降に満二十才に達する者は必ず申告して手続をすませておくようにして下さい。

農業後継者を

励ます集い

本年三月中学校を卒業し、父母



と共に農業に従事し農業の近代化を押し進めようとする郡内の青年男女を励ます会が新甲子温泉みやま荘で開かれた。村からも二十二人が参加し、講義をうけ話し合いやレクリエーションを楽しみながら高原の初夏の一日を有意義に過ごした。

当日の参加者はつぎのとおり。
大森勝春、佐川正次、白石敏雄
白岩一男、鈴木通子、西巻幸子
行武京子、有賀博、五十嵐勝、海上吉光、木野内正美
斎藤武雄、中野目好一、西巻正男、星一、緑川恒江
本柳孝、星一良、佐藤久男
新村正敏、緑川喜明

(写真は小針村長を囲む村内参加者)

子どもの水の事故

親も子守りも社会も

みんなで注意

白河署管内で今年になつてから四人の幼児が水の犠牲になりました。これからの事故はみな二、三才の幼児で正午から三時頃までの間で仕事に追われたり、子守り役がちよつと目をはなしたスキに起きています。

子供を守るために、親も社会もみんなで気をくばり



お巡りさんと

一緒に道路横断

新人児童、幼稚園児を交通事故から守る運動期間中の四月二十四日両地区幼児学級の開講式が行なわれたが西地区の太田川部落の幼児達は交通量の多い四号国道を横断しなければならぬので、この日八時から川崎駐在所の清水巡査さんや運転者会の酒井一二さんに横断のしかたをならつた。

(写真は、お巡りさんを手をひかれて道路を渡る幼児たち)



ましよう。

◆水の事故をなくすために

- (1) 用水堀や池の近くが危険であることを子供に、つねに教えておきましょう。
- (2) 川や池など「危険」を表示した立看板を立て幼児でもわかるように工夫しましょう。
- (3) 池や用水堀のふちですべりやすい場所には杭などを使用して安全柵にしましょう。
- (4) 池や用水堀などに縄などをわたして手がふれたら音がするように鈴などをさげるなど事故を早く知るよう工夫しましょう。
- (5) 幼児だけでは遊ばせないようにしましょう。
- (6) 子供を田畑へ連れて行く時は目を離さないようにしましょう
- (7) 幼児に黄色い帽子などをつねに用いさせ危険の際の目じるしに活用しましょう。

六月の納税

村県民税

第1期

六月三十日まで

納税組合に加入しましょう
納税組合は各部落に結成されています

馬鈴薯の手入れ

馬鈴薯増収のコツは、えき病の防除です。やかもすれば他の仕事に追われ有利な換金作物を生育途中で病死させることとなります。「消毒一回、四〇〇キロ」と云われるほど効果が高いものですからしつかり計画し必ず実行したいものです。

薬剤は粉剤、液剤いずれでもよく、特に液剤を散布するときは葉の裏側や下葉によくかかるようにして下さい。えき病菌は葉の裏、下葉から侵入します。

葉をかける時期は蕾のできるころ、花盛り、花終りの三回が最も効果が大きいようです。

葉かけと並んで大切なものは土寄せです。これは地温の必要以上に上るのを防いで、いもの太りをよくし、えき病菌がおちてもいもを侵すことがないようにします。

しかし土寄せも余り遅いとせつかく張つた根を切りますので蕾のできる頃までに終りたいものです。

なお凍霜害をうけたものは特に病気に侵されやすいので葉かけを実行して下さい。

泉崎十軒に

婦人ホームでできる

西白河開拓農業協同組合（組合長佐々木庸氏）では東北でも数少ないと言われる婦人ホームの建設を計画していたがこのほど大字泉崎字愛宕山地区内に完成した。



婦人ホームは主として開拓農家の婦人を対象として生産活動、生活改善、生活技術、健康管理、家庭教育などの学習活動によつて婦人の教養を高めると共に婦人の憩の場として建設されたもので、面積一三五・八五平方メートル（四十一坪）鉄筋ブロック造平屋建の近代的な建物である。

慶弔欄

◎出生おめでとうございませす。

(氏名)(父氏名)(住所)
 貢 和泉保則 愛宕山31
 勝雄 溝口良勝 太田川
 寿之 田崎充宣 上町 60
 ◎謹んでお悔み申し上げませす。

横溝 正次 長 峰
 久保木 イヨ 太田川
 溝井 徳正 太田川
 小林 タイ 踏 瀬

6月中の水稻の病虫害防除

病虫害名	発生時期	防除方法	防除必要度	備考
イネヒメ ハモグリ バ エ	五月上旬 六月上旬	耕種的防除法 産卵特化に深水にならないよう注意し、 水管理特化の防除をはかる。 (1) 薬剤散布 予防措置として移植前日に苗床一坪当り 一〇リットルに三〇ccの〇・五〇倍液(水 布して本田での発生を防ぐ。 E P N、バイジット乳剤、二、〇〇〇倍 液反当り八〇cc、またE P N スミチオン 粉剤バイジット粉剤のいづれかを反当り 三kg散布する。 水面施用 B H C 六%、粒剤三kg施用 施用時期 田植後七〜一〇日頃	平常 防 生 異 状 発 生	① 涼涼な年に発生が多い ② 田植後一五日〜二〇日 目頃に散布する ③ 産卵の多少に注意する ④ 苗処理の防除効果は大 きい ⑤ ニカメイ虫初期の同時 防除ができる ⑥ 水をはつたまま撒布し のときは、水を止めて減水 し、乾田とならないよう に、七〜一〇日おく
ニカメイ虫 (ニ世代)	六月中・ 下旬	薬剤散布 バイジット、イルサン、スミチオン、E P N 乳剤二、〇〇〇倍液を反当り九〇cc撒布 する。スミチオンバイジット二%、イルサ ン三%、E P N 一五%、B H C 三%、粉剤 を反当り三kg散布する。 水面施用 B H C 六%、粒剤反当り三kg施用。施用時 期は普通撒布より五〜七日早めとする。	平常 一 回	① 五月下旬田植のもの は六月二十五日を目 標に、これより早い ものは四〜五日早く 撒布し遅くも六月三 十日までに防除する 二回撒布の場合、第 一回は六月十五日、第 二回は六月二十五日 頃を目標に撒布する

これだけは 読んでください

農業は農業の近代化に大きな役割りを果しています。その種類も数多く、農業生産のために研究開発されています。しかし農業の人体に及ぼす毒性も無視することはできません。最近、農業による自殺者の問題、中毒の問題、農産物に含まれていると云われる量の問題などが大きな社会問題として、とりあげられています。

農業は勿論毒薬です。その毒薬を使用する農家自らの使用上の不注意や保管の面の手ぬかりや法律で禁止されている特定毒物の「ホリドール」「パラチオン」等の不法所持などが自殺者を出し、幼児を犠牲にし、自らが中毒にかかっている現状ではないだろうか。これからの本格的な使用期に入りますが次のことがらに注意され一人の患者も出ないようにしたいものです。

●パラチオン等有機燐製剤は、個人では、使う事も持つて居る事も出来ません。
●有機燐製剤は、町村共済組合、農協等知事の指定を受けた農業者の組織する団体でなければ使用することができないから使用する場合は必ず共同一斉防除を行なつて下さい。
●この薬剤を使つて防除を行なう場合はとくに次のことを守らな

○使用する一週間前に町村長を経由して保健所に届出なければなりません。
○防除を始める二日前から、防除が終つて一週間はその地区に人畜が立入しないよう立札しなければなりません。
○防除をする場合は必ず正規の指導員の実地指導に従つて作業しなければなりません。
●実際に防除に当る場合は次の点に注意して下さい。
○散布作業に馴れくると取扱いが粗雑になり勝ちですから注意すること。
○妊婦には作業に従事させないこと。

○身体が悪い人、手足に傷のある人、生理日の婦人、年少者老、人には作業に従事させない。
○同一人が何日も連続して作業をしない方がよい。
○作業服は軽装にし皮ふの露出部を少なくすること。
○散布する場合は風向きを考え、常に風上りに体を置くようにし、朝夕の涼しい時を選んで行なうこと。
○休憩時には、手顔等を石けんなどで洗い、うがえをすること。
○作業中体の具合が悪くなつたら直ちに作業を止め指導員の指示を受けのこと。
○作業が終わつたら使用した器具、作業衣等は完全に洗滌、洗たくをすること。
○残つた薬剤は必ず責任者に渡し作業員が自宅に持ち帰ることのないように注意すること。

す。こんなときは早速医師の診断をうけるか保健所で便の検査が必要です。検便によつて虫卵があれば駆虫しなければなりません。
●「鉤虫」には、いままでは入院して駆虫の前日から絶食し下剤をかけ、薬を飲んで又下剤をかけるなど大変厄介なものでしたが最近では鉤虫のための駆虫剤ができていますので、保健所の指導をうけて服用すれば容易に駆虫できます。鉤虫も仔虫も寒さには弱いので駆除には冬期間が最適と言われています。これは一、二月の厳寒期ですと畑にまかれて下肥の中の卵やフ化してはいます。仔虫も大部分が死滅するからです。
これからは卵のフ化期になりますので素足での農作業や、生野菜の洗滌には充分気をつけ鉤虫の体内侵入を防ぎましょう。

と呼ばれていた鉤虫病が広くまんいんし、とくに畑作業の多い農家の婦人の健康を害しています。
この鉤虫が人体に入る経路は洗いや方たりない生野菜によつて口から入るものと農作業によつて手足から入るものがあります。
人体に入った鉤虫は小腸の上部から十二指腸部に寄生し鋭い歯で粘膜に咬みついて血を吸っています。鉤虫の成虫の長さは一センチ位、太さは木綿糸位で一匹の吸う血の量は一日約〇・七立方糶と云われていますので三十四位寄生してるとすれば盃一杯位の血が吸われることになると貧血、顔面青白、頭痛、めまい、どろろき、息切れ、疲労などの症状が現われま

「鉤虫」

鉤虫病 いままで十二指腸虫

驅虫 には、いままでは入院して駆虫の前日から絶食し下剤をかけ、薬を飲んで又下剤をかけるなど大変厄介なものでしたが最近では鉤虫のための駆虫剤ができていますので、保健所の指導をうけて服用すれば容易に駆虫できます。鉤虫も仔虫も寒さには弱いので駆除には冬期間が最適と言われています。これは一、二月の厳寒期ですと畑にまかれて下肥の中の卵やフ化してはいます。仔虫も大部分が死滅するからです。

これは卵のフ化期になり、素足での農作業や、生野菜の洗滌には充分気をつけ鉤虫の体内侵入を防ぎましょう。

○作業後解散したならば次の事に注意する。
・酒等を含めないこと
・夜ふかしをしないこと
・気分が少しでも悪いときは医師に診て貰うこと
・医師に診察を受ける時は有機燐製剤散布作業をした事を告げること

【註】特定毒物（届出を要し個人使用の出来ない農業）には次の様なものがあります。
・パラチオン剤（ホリドール）
・TAPP剤（テップニツザリント）
・メチルジメトン剤（メタンストックス）
・シュラーゲン剤（ベストックス）
・スリー三）
・モノフルオール酢酸ママミト剤（フツソール）
・モノフルオール酢酸塩剤（フモノール）
・リン化アルミニウム剤（ホストキシン）

6月～8月の天候予報

(福島地方気象台 発表)

(概況) 一般に六月中の梅雨活動は不活発だが七月に入つてやや顕著になり一時的な大雨のおそれがある。梅雨あけは七月下旬ごろで夏季を通じて気温はおおむね平年並みだが七月から八月上旬までは時々低温の期間がある見込。
(気温) 六月平年並みかやや高いが一時低温の期間があり高低の変動がやや大きい。
七月 時々低温が現われ月平均は平年並みかいくらか低め。
八月 月始めごろと下旬ごろに一時低めの期間があるが、その他はおおむね暑い日が多く月平均では平年並みかやや高い見込。

降水量

六月 月始めごろと下旬には梅雨らしい天候が現われやすく月の総量としてはやや少ない。
七月 梅雨活動がやや活発になり曇雨天の日が多い。梅雨は中旬末に一時明けるがその後再び悪天の時期があり本格的な夏型は下旬後半ごろになりそう。
八月 月始めと下旬ごろに一時悪天となる時期があるがその他はおおむね夏型が現われやすく例年に比べて雷雨の発生が多くなるかもしれない。月の総量としては平年並みかやや多い見込み。